

あなたも簡単に書籍出版ができます

経営コンサルタント・士業・専門職は書籍を名刺代わりに使う

■ 自分の書籍でクライアント獲得

経営コンサルタント・士業・専門職の人は、例外的な人はいますが、サラリーマンと異なって仕事をしないと収入がありません。

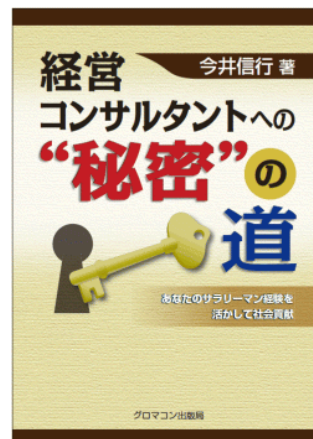
見込み企業や商工会議所などの団体に売り込みに行っても、名刺だけでは信頼をしてもらえないでしょう。「先生はどのような本を書いていますか？」と訊かれたときに見せる本があるのとないのでは大きな差があります。

出版している書籍を持っていると、単に信用度が高まるだけではなく、ご本人の専門分野が何であるのか、どのような考えを持っているのかを理解してもらえます。カタログを持ってゆくよりは説得力が高まります。

しかし、出版不況とか業界の先行きが不透明な今日、なかなか出版の機会に巡り会えなくなっています。たとえ出版の機会が訪れても、協賛金を求められたり、書籍の買い取りが条件であったりして、出版とは言え持ち出しになることが一般化してきています。

自費出版となると金額も相当かかります。出版社によっては、店舗販売を支援してくれるところもありますが、一般的には販売はしてくれません。たとえ販売してくれるといっても、限定された書店で、一年間のみというような条件がつきます。在庫管理の費用は固定的にかかるので、自費出版社を通じて販売する場合には著者側の負担が大きいのが現状です。

もし、販売するのであれば、自分のウェブサイトを通じたり、口コミで販売したりする方法が費用もかからないでしょう。楽天やアマゾンなどで販売する方法もありますが、出店に伴う固定費が結構かかりますので、よほど売れる本でないとペイしないでしょう。経営コンサルタント・士業・専門職が出版するのは、クライアント獲得の宣伝広告費と割り切って考えてはどうでしょうか？



■ 文章を書くのが苦手な人でも本を出せる

書籍を名刺代わりに使うメリットがあることが解っても、経営コンサルタント・士業・専門職の方が、必ずしも文章に長けているわけではありません。ゴーストライターに依頼する方法もありますが、著名人などならいざ知らず、この方法は費用面でなかなか手を出せません。

でも、クライアントはほしいので、出版をしたい！！

「捨てる神あれば拾う神あり」といいますが、背広にイージーオーダー方式があるように、出版のイージーオーダー方式を利用してはどうでしょうか？

目的は上述のように経営コンサルタント・士業・専門職の方が名刺代わりに書籍を利用することが基本の場合に適した出版方法です。出版のイージーオーダー方式というのは、主著者と共著となります。数ページを除いてすでに共著の主著者が書いており、残りの数ページをあなたが書くのです。ページ数が少ないので、ご自身が書かなくてもイージーオーダー方式の出版社にゴーストライティングを依頼してもそれほど多くの費用は必要ないでしょう。

■ あなたは何をするか

あなたが関与できる部分と、そうでない部分があります。

① タイトル

書籍タイトルは、既存のタイトルを使用します。あなたは、サブタイトルを決めることができます。

② はしがき

主筆者がすでに1ページを書いています。あなた用に1ページありますので、出版における挨拶文を書くことができます。

③ 第五章見出し

第五章があなたの担当です。第五章の見出しとそれに関する簡単な紹介文章を作成します。

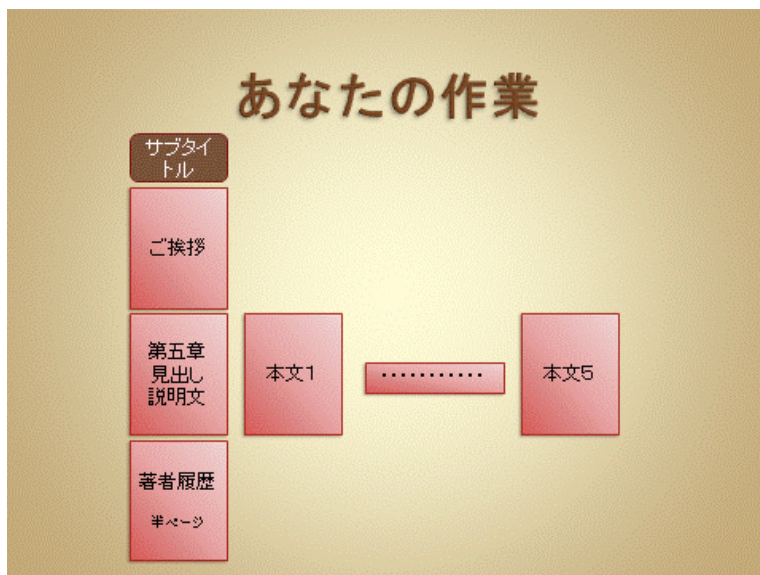
④ 第五章本文

第五章の本文は5ページです。これがあなたが自由に書けるページです。自由といっても他章とのバランスを考えて同じ体裁で書いていただきます。図表を入れることができます。図表の数や複雑性で費用が変更になることがあります。

5ページではなく、本格的に書きたいという場合には、さらに32ページ単位で追加することができます。追加ページは章見出しと本文の合計で32ページになるようにしてください。

⑤ 著者プロフィール

履歴など、著者のプロフィールを半ページを最大として書くことができます。



■ 書籍概要

主著者がすでに1～4章までを右の目次のように書いています。あなたは残りの章を執筆します。

も
く
じ

1. 経営コンサルタントは何をしてくれる
2. 信頼できる経営コンサルタントの見分け方
3. 社員研修で人材を効果的に育てる
4. 経営コンサルタントとの契約の方法

書籍サイズは、A5を基

準にしています。サイズの変更をすることもできますが、料金体系が大きく異なります。総ページ数は64ページで、32ページ単位で追加することができます。

本文は、1行34文字、1ページ28行で原稿を書いてください。そのスペースには図表も入りますので、図表のサイズ分のテキスト（文字）を減らすことになります。表はExcelを使って作成するとテキストの誤植を防ぐことができ、また制作費も抑えられます。図は、イメージを手書きやパワーポイントなどで描いてください。図表は制作側のプロが全て描き直すので、原稿段階では著作権のあるイラストなどでも使うことができます。説明文をつけると制作者がその意図に添って制作してくれます。図表の数や難易度は制作コストに反映されます。

表紙カバーは、原則として主著者のカバーをそのまま使いますが、変更したい場合には実費が別途かかります。